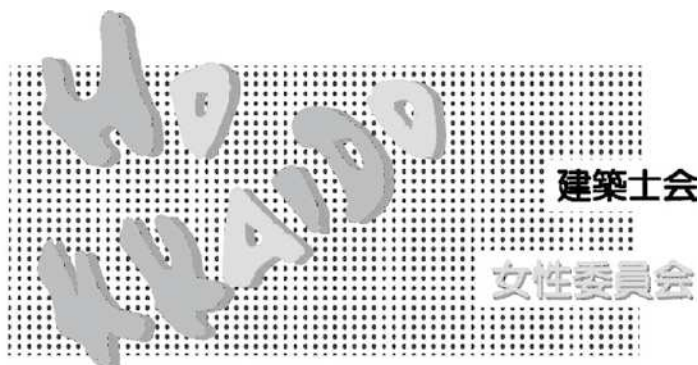


No. 76



私らしいこだわりのインテリア  
藤女子高校住教育出張講座報告  
往田 協子 (札幌支部)

建築士と一緒に  
楽しく学んで防災博士になろう  
高見 友子 (旭川支部)

1月16日(土)に、「建築士と一緒に楽しく学んで防災博士になろう」を実施しました。

最近のさまざまな自然災害をふまえて、比較的災害が少ない旭川でも、いざという時の備えや防災を考えるきっかけに、楽しく学んでもらおうと、一般市民向けに社会貢献の一環として行いました。「地震時の我が家のバーチャル体験」で北海道大学 空間防災講座都市防災学研究室の中嶋唯貴氏にも協力いただいています。

冬休みに科学館へ来館されていた市民の皆さんに参加してもらい、受付では旭川市のハザードマップを使って、参加者に避難場所を確認して頂いてから自由にブースを回ってもらいました。

避難場所を知らなかったり、水害時の自宅の浸水高さにビックリする人も！通りすがりの参加者の反応が心配でしたが楽しく過ごしてもらえたようです。



当日の来場参加者の(大人)へのアンケートでは、とても満足56%、満足44%と満足度は高く、今後防災について何か取り組みたいですかの問いでは、とても思う24%、思う64%「こどもにも『もしも…』と話していこうと思う」「ドアの前に家具が無いか確認しようと思いました」などの回答があり参加者の防災への意識の高まりが感じられました。釧路支部女性委員会提供防災レシピ“乾ぱんティラミス”も作りたいと人気。総勢22名(事務局・講師含む)スタッフからは疲れたけど楽しかった！が多かったようです。年度内に無理の無い範囲で再度開催できないかと検討中！ですが、さて？青年委員会と企画の段階から一緒に活動は初めてだったと思いません。今後も協力していけたらいいなと思います。

昨年から住教育運営委員会により濃く住教育出張講座に関わらせて頂いています。先輩との語りの中で、札幌支部事業の藤女子高校の講座について、女子校だし一人暮らし目の生徒も多いので、インテリア要素も盛り込んだ提案をしようということになりました。

11月初回学校との打合せで間取りキットをベースにしたインテリアボード作成を提案。その直後にインテリアチームを作りブレインストーミングから始め、講座構成、インテリア講義スライド作成、サンプル・カタログ取寄、サンプルボード作成など、文字通りゼロから講座内容を組み立てました。

講座は2回に分け、1月27日の初日はスライド講義の後、間取りキット作成。いろいろ考える作業に生徒達からため息が漏れました。

2日目の2月3日はいよいよインテリアボード作成。もっともっと納得のいくものにしたいた熱気が生徒達から溢れ、長時間集中力と遂行力は途切れることはありません。理想の暮らし、憧れの暮らしをイメージしてじっくりサンプルやイメージ写真選び、全員が時間内に完成、発表しました。

生徒の感想は「将来役にたちそう」「住まいやインテリアを考えることは楽しい」。先生も「こんなに一生懸命に取り組むとは」と来年も是非にと言っていました。



北方建築総合研究所や旭川市消防本部の防災担当の方々にもアドバイスいただきながら、「私たちが考えた楽しいこと！」をやろうというものでした。今回は、青年委員会も企画の段階から参加してくれることになり、7ブースを巡って学んでもらうスタンプラリー形式が実現できました。